

復 命 書

17年 11月 14日

静政会 代表

鈴木 和彦 様

議員名 佐藤 成子

下記のとおり、政務調査費による視察を実施したので、ご報告します。

記

1 日 程

17年 11月 12日(土) ~ 11月 13日(日)

2 視 察 先(都市名、視察施設等を具体的に)

埼玉県比企郡嵐山町 独立行政法人国立女性教育会館

北京 JAC 第 10 回全国シンポジウム参加

3 視 察 内 容(調査事項、調査結果を具体的に)

北京+10 ~女性の人権の確立と脱軍事化・脱暴力~

講演:成均館大学歴史学科教授 チョン・ヒョンベク氏

パネルディスカッション:「男女平等、検証とあらたな挑戦」 等

4 そ の 他(所感、感想等)

別紙参照

北京 J A C 第 10 回全国シンポジウム

北京+10 ~女性の人格の確立と脱軍事化・脱暴力化~

会は、永井よし子氏の「北京 J A C の 10 年~活動の成果とこれからの課題~」の基調報告からスタートした。

第 4 回世界女性会議が北京で開催されて 10 年、そのときは日本から 5000 人余もの N G O が参加したこと、その N G O の活動が、具体的な行動が、行動綱領の策定を促し、意義あるロビー活動をやったと評価した。その後も、北京 J A C は、国の男女共同参画関連予算の概算要求に関するロビイングや、他の審議会への提言などを行っているし、他のメンバーも、国際会議にも積極的に参加しているなど、大きな役割を担っているといえる。

これからの課題としては、活動の質の確保と相互理解を豊かにするため、地域コーカスとの連携、他のグループとの協力を活発にする必要があると述べていた。

報告の後は、「北京会議以降の韓国における女性政策と女性運動~評価と展望~」のタイトルで、チョン・ヒョン・ペグ氏の講演があった。その中で、“最も成功した分野は、ジェンダー主流化の制度的仕組みの拡大と定着だ”という話がとても印象的だった。

続いてのパネルディスカッション「男女平等、検証と新たな挑戦」では、何が進展し、何が問題か、それぞれの立場から検証がなされた。これから私たちが何をなすべきか考えさせられた。

女性の貧困化と格差拡大には興味がそそられた。また、紛争化における女性の暴力や人権侵害など、まだ多くの問題があると痛感できたし、安全保障は誰にとつてのことなのか考えさせられた。

20 日の分科会は、午前には「女性と政治~バックラッシュ構図を読み解きひるまず前進しよう~」に参加。午後には「メディアにおける男女共同参画の推進~女性の社会的発信の拡大に向けて~」に参加した。それぞれ、新たな課題も見えたし、何よりも全国各地で生き生き輝いて社会で活躍している女性たちに会えて、エネルギーをもらった 2 日間でした。